
理解

森山KOUSEI

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

理解

【ZPDF】

Z2867F

【作者名】

森山KOUSUKE

【あらすじ】

あなたは自分の弱い部分を理解し、向き合って生きていませんか？
理解する事について書いた詩です。

ねえ、僕が見えない？

確かに僕はここに存在しているのに、あなたには僕が見えませんか？

あなたがちゃんと僕を見ようとすれば見えるはずだよ。

あなたはいつも自分の事しか考えていないから、僕がみえないんだ。

つまり、僕を受け入れよう理解しようといつ心がないんだよ。

どうして、僕の言葉を聞いてくれないの？

どうして、僕の事を否定するの？

あなたはいつも自分の中に好きなものを否定されると、その人を敵だと思ってしまうよね。

でも、人にはいろいろな考え方や見方があるんだよ。

あなたは、自分の考え方や意見にただ同意してくれるだけの人気が好きなんだ。

だから僕がみえないんだ。

だって僕は中身はしつかりあるんだけど、表面はないのと同じなん

だよ。

あなたは中身なんてどうでもいいんだよ。
といつか面倒くさい。

人の感情や思いなんて曖昧なものはいらない。

ただ欲しいのは確実にある目に見えて、触れたら感触のある表面的
で心地よいもの

つまり、自分の都合のいい事実しか受け入れず、欲望を満たす人間。

でも、いつか気づくんだよ。

それは鏡に映る自分を見ていて、触って、それを心地よいと感じて
いるだけなんだよ。

本当は僕を見てみたいんでしょ？

本当は僕を見てみたいんでしょ？

でもいつしか僕の見方も、触れ方もわからなくなってしまった。

そしてそれを素直に言えなくなつた。

僕はあなたを理解しようとしているんだ。

あなたがどんなにひどい言葉やひどい事をしたとしても、

僕はあなたを理解したい。

でも、あなたは怖がってるんだ。

弱い自分を見せる事を……

怖がっているんだよ。

ねえ、手を伸ばしてよ。

本当はそこから抜け出したいんでしょ、

本当は自分を理解して愛してほしいんでしょ、

あなたの中にいる。あなたを被つ殻はあなた自身が作ったものだよ。

僕がその殻から抜け出させてあげるよ。

そしてあなたを受け入れたいし、理解したいんだ。

だって僕はもう一人のあなただから

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連＝横書きという考えが定着しようとっています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n2867f/>

理解

2010年11月19日08時02分発行